

第20回全日本ハイシニアソフトボール大会愛媛県予選の開催について
(ご案内)

標記大会を次のとおり開催いたします。フリーエントリーの大会ですので 参加を希望されるハイシニアチームは 所属支部を通じて参加申込をしてください。 今年度も「全日本ハイシニア県予選」と「西日本ハイシニア県予選」を別々に開催します。ことになりました。西日本ハイシニア大会県予選は7月に予定しております。	
1. 大会名	第20回全日本ハイシニア大会 愛媛県予選
2. 主 催	愛媛県ソフトボール協会
3. 主 管	松山市ソフトボール協会
4. 期 日	令和7年 5月24日(土) 予備日：6月7日(土) ※ 今年度の大会については「代表者会議」と「開会式」は行いません (9時：第1試合開始予定。参加チーム数によっては変更する場合がある。)
5. 会 場	予定 5. 24. 松山中央公園運動広場 6. 7. 重信川河川敷グラウンド
6. 参加資格	(1) 選手は 令和7年4月1日現在 満68歳以上の男子で編成されたチームであること。 (2) 令和7年度の県協会(日本ソフトボール協会)への登録チームであること。 ○ 県協会(日本協会)チーム登録：ハイシニア種別 ○ 県協会(日本協会)個人登録 (3) 愛媛県スポーツ協会への個人登録を完了しているチームであること。 (4) チーム編成は、監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内とする。 監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手登録をすること。 ベンチ入りするスコアラーは、公式記録員の有資格者であること。 (5) チーム内の指導者資格の有資格者は、県協会発行の「指導者カード」を持参すること。 試合当日 1名以上の有資格者が指導者カードを携帯しておくこと。
7. 競技規則	2025年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールによる。 ハイシニアの大会では、投捕間を40フィート(12m19cm)とする。
8. 使用球	ゴム製公認3号球(マルエス製)とし、各試合前に新球2個を本部に提出のこと。
9. 帯同審判員	大会実施予定が あまり重ならない試合日になりますので、この大会については 参加チームの帯同審判員は必要ありません。
10. 傷 害	傷害に関しては本人またはチームの責任とし、協会は一切責任を負わない。 チームは、必ず スポーツ傷害保険に加入しておくこと。
11. 申込締切	※ 各種大会の会場調整の関係で 締切が早くなっています。 ご了承ください。 令和7年 4月30日(水) 県協会必着のこと。 締切を過ぎて到着したものは受付けない。

12. 参加料	参加チームは 17,000 円を納付してください。
13. 申込方法	(1) チームは支部協会を通じて 参加申込みをすること。 ◇ 支部協会の指定する期日までに申込みこと ◇ チームより支部協会へ提出するもの 大会参加申込書 大会参加料 (2) 支部協会事務局でとりまとめのうえ 県協会への申込手続きをすること。 参加料合計額を 指定された方法で振込手続きをすること。 大会参加申込み確認表に 大会参加申込書を添えて送付すること。 ◇ 申込先 〒. 796-0013 八幡浜市山越 2 愛媛県ソフトボール協会理事長 笹田 嘉雄
14. 競技方法	(1) トーナメント戦により優勝チームを決定する。 (2) 試合開始予定の 30 分前、または、前試合 4 回終了時まで集合のこと。 (3) ベンチは若番 1 塁側、攻守はコインにて決定する。 (4) 全試合において 3 回 15 点・4 回 10 点・5 回以降 7 点以上の差が生じた時には「得点差コールドゲーム」を適用する。 (5) 決勝戦を除く試合 ・試合は 70 分ゲームとする。70 分を過ぎて新しいイニングに入らない。 ・ただし、同点の場合は 1 イニングのみタイブレークにより試合を続ける。 それでもなお同点の場合は抽選とする。 (6) 決勝戦 ・7 回終了時同点の場合、8 回よりタイブレークにより勝敗を決する。 (7) 打者・走者・次打者ともにヘルメットを着用のこと。 ベースコーチもヘルメットを必ず着用のこと。 捕手は、捕手用ヘルメット・スロートガード付きマスク・プロテクター・レガーズを着用すること。
15. 連絡事項	(1) 開会式・代表者会議は、会場の都合により行なわない。 (2) 全日本ハイシニア大会（各県代表 1 チーム出場） 9 月 25 日 ～ 29 日 新潟県（新潟市・燕市）にて開催予定 愛媛県予選第 1 位チームが出場予定